



学校だより

上小岩



令和6年 2月26日

NO.11

江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

穏やかに「結びの月」へと入ります

校長 宮本 知司

をちこちの旅路に会へる人々の笑顔を見れば心とみぬ

これは、今年1月の歌会始の儀で天皇陛下が詠まれた歌で、久しぶりに新型コロナに関係しない歌を詠まれたことが、ニュースでも取り上げられました。今年は、学校行事はもちろんのこと、町でもこれまでのように人々にぎわう行事やお祭り、イベントが行われ、たくさんの子供たちや町の方々



の笑顔と出会いました。まさに今年は「人々の笑顔を見て心とむ」という思いが、誰しにも共通する強いものだったのではないのでしょうか。年度の末にあたり、改めて日々本校の子供たち「かみっ子」を町の皆様みなで見守り、町全体で育てていただいていることに感謝申し上げます。

先日、北小岩小学校の研究会で、東京学芸大学 森本 康彦教授の講演を伺いました。専門とする教育工学のお話は大変に興味深く、中でも「そうだよ!」と合点したのは「人の学びにとって最も大切なものは『自主性』です」と明言されたことでした。これまでの自身の生き方や教職経験の中で何となく分かっていたことではありましたが、教育方法の研究者からはっきりと告げられたことで「その感覚は間違っていなかった」と確信をもちました。

今シーズンから新天地での活躍が期待されるドジャースの大谷選手が、少年時代から確固とした将来の夢をもって具体的な目標を立て、自ら「やろう」と努力を続けてきたことは有名な話です。また、3学期の初めに「能登地方への募金をしたいです」と申し出た4年生の姿もまさに自主性です。「やってみたい」と心に思うだけでなく、そこから「やってみよう」と一歩前に出ていく力。その自主性が子供たちの学びをグイッと前に引き出していき、受け身ではない「本当の力」として成長を引っ張っていくのでしょうか。



今年は一年間『のびる かみっ子』を合言葉としてきましたが、これからも子供たちには「もっともっと伸びるよ」と言葉をかけ、さらに、子供たちが自分の気持ちで「伸びていきたい!」と思えるような指導を重ねていきたいと思います。明日からのウィンタースクールでは、5年生の子供たち一人一人が、自主的に考えて行動する姿をしっかりと見守ってこようと思います。

旧校舎が解体され、上小岩遺跡の発掘も順調に進んでいます。このような学校改築の真ただ中の年度でしたが、おかげさまで子供たちは健やかな成長を続け、卒業・修了へと向かう「結びの月」となります。今年度の残りの日々も、気を緩めることなくしっかりと進んでまいりたいと思います。

今年度も本校への力強いお力添えをありがとうございました。篤く感謝申し上げます。

《3月の全校道徳》

『感謝』 家族など日頃世話に

なっている人々
に感謝する。



◇次年度のあれこれ◇

- 水泳指導は引き続き「東京ドルフィンクラブ」の施設を使い、クラブのコーチとともにいきます。
- 「体育学習発表会」は上小岩二小校庭をお借りして5月25日(土)に、「かみっ子芸術祭」は体育館やプレイルームで11月28日(木)～30日(土)に行います。
- 第1回の学校公開日は、4月20日(土)です。